



2023
3

作成：士幌町教育委員会

重点的に身に付けさせたい資質・能力

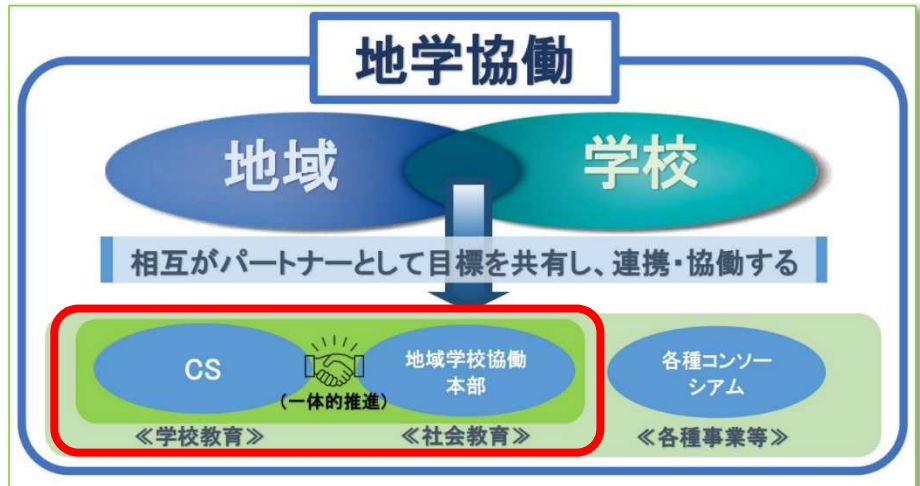


1月31日に「十勝管内コミュニティ・スクール オンライン研修会」に参加しました。左図は、北海道地学協働アドバイザー（厚真町教育委員会ふるさと教育推進コーディネーター）の舩田仲永氏の講話の中での資料です。

学校運営協議会を活用して次年度学校運営の基本方針を作成するために熟議を行い、厚真町としての重点を共有したという説明でした。

また、右下図は2月15日オンライン実施の「北海道CLASSプロジェクト地学協働活動推進フォーラム」で北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課課長補佐 五十嵐秀介氏の説明で示された図です。

ここで重要なのは赤枠（筆者加筆）部分で、「CS」と「地域学校協働本部」、「学校教育」と「社会教育」の、それぞれ「一体的推進」という部分です。



士幌町学校運営協議会としても、学校(園)個々の取り組みを尊重しつつ、さらに町として目指す子どもの姿の共有が進むことが望めます。また、CS(学校教育)と地域学校協働活動(社会教育)を、いかに有機的に結びつけていけるかが、重要な課題になります。

3月に予定している第3回全体・連携会議で、委員の皆さんと「熟議」する中で、一步一步進む方向を見つけていきたいと考えています。そうした「歩み」が、「地域創生」につながるということが、上記いずれの研修会でも結論付けられていました。子どもも大人も、学校も地域も元気になる、そんな士幌町学校運営協議会にしていきたいと思います。

- ◆「北海道 CLASS プロジェクト」のCLASSはCollaboration【連携・協議】 Literacy【知識の活用】 Adult【大人の参画】 Student【生徒の理解】 System【体制の構築】。◆道教委が道内高校を研究指定校にして展開している地学協働活動推進実証事業です。◆「北海道 CLASS」がビールの銘柄に見えてしまう私…。◆立春が過ぎても寒い日が続きましたね。でも、日が長くなってきたことも事実。春は近づいています。◆まもなくWBC開幕！今回は各国も大リーガーをそろえて強そう。◆2009のダルビッシュのように、優勝決定のマウンドで雄叫びをあげるオオタニサンが見たい！！

(渋谷)